

経営改革を考えるワークショップ

# テレワークが変える 企業の未来、地域の未来

モバイルワーク

## 「テレワーク」とは？

テレワークとは「情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方」のことです。

※テレワーク  
[tele=離れたところで]と  
[work=働く]をあわせた造語

サテライトオフィス勤務

在宅勤務

部分参加もOK!

●とき

2017年

第1回 1月30日(月)

■18:30~20:30

第2回 2月 6日(月)

■18:30~20:30

第3回 2月13日(月)

■18:30~20:30

●ところ

ふれあい健康館

徳島市沖浜東2-16 Tel:088-657-0190

●対象

テレワークに関心がある事業所の  
経営者及び担当者

●参加費

無料(先着20名まで)

◎主催：公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1  
TEL.088-625-8387 FAX.088-625-5113  
<http://www.tokushima-rofuku.net/>

◎共催：徳島市

◎後援：一般社団法人 日本テレワーク協会 <http://www.japan-telework.or.jp/>

お申込み・お問合せは  
裏面をご覧ください。

# テレワークの導入は「無理」、「想像もできない」、「不可能」、「難しい」…。

昨年度、徳島県労働者福祉協議会が実施した「テレワークに関する実態・意識調査」の自由回答には、テレワーク導入に関して否定的・消極的な企業の意見が多数寄せられました。一方で、「同業種で導入できる具体例があれば参考にしたい」、「詳しく知りたいのでパンフレットや説明会の案内がほしい」と情報を求める意見もありました。

育児や介護、病気治療、配偶者の転勤など仕事との両立をめぐる様々な課題に、さらには地震や感染症流行時の事業継続性の確保(BCP)などの経営課題に、テレワークに代表される働き方改革・経営改革は、どのような効果を発揮し、企業や地域にどんな未来をもたらすのでしょうか。

経営者も社員も、誰もが自分らしい生き方や働き方ができる…少し先の未来を一緒に考えてみませんか。

## ワークショップの内容



「トクシ」

1/30

### ◎テレワークで始める働き方改革

日本テレワーク協会 主席研究員 中本 英樹

### ◎テレワークに関する実態・意識調査の報告

徳島県労働者福祉協議会 事務局次長 兼松 文子

### ◎グループ討論:働き方改革とテレワーク

### ◎体験:在宅勤務をしてみよう(宿題)

2/6

### ◎経営課題の解決手段としてのテレワーク

日本テレワーク協会 主席研究員 中本 英樹

### ◎体験:テレワークツールの体験

### ◎グループ討論:我が社の経営課題とテレワーク

2/13

### ◎体験:在宅勤務をしてみよう(宿題)

### ◎在宅勤務導入のポイント(労務管理・助成金等)

日本テレワーク協会 主席研究員 中本 英樹

### ◎個別ワーク:考えてみよう!わが社の未来、地域の未来!

お問い合わせTEL:088-625-8387 E-mail: tokushima@rofuku.net

ワークショップ参加申込書 ※必要事項を記入し、FAXまたはE-mailで、2017年1月25日(水)までにお申し込みください。  
※E-mailによりお申込の場合は件名に「テレワークワークショップ参加申込」と表記のうえ、下記項目をご連絡ください。

参加希望日	希望日に <input checked="" type="checkbox"/> をご記入ください	<input type="checkbox"/> 全日程	<input type="checkbox"/> 1月30日	<input type="checkbox"/> 2月6日	<input type="checkbox"/> 2月13日
企業名・団体名					
参加者	氏名 (役職)	氏名 (役職)			
所在地					
TEL			FAX		
参加動機などご自由にお書きください					

■ご記入いただきました情報は徳島市並びに(公社)徳島県労働者福祉協議会で管理し、次の目的以外では使用しません。

① 本ワークショップの実施・運営 ② ワークショップ受講後の一定期間アンケート等による追跡調査、参考情報の提供

FAX:088-625-5113